

ふりがな 氏名	しらい まれちか <b>白井 希知</b>	都道府県 <b>愛知県</b>	
所属/肩書	<b>・豊橋市立章南中学校 教諭</b> <b>・汐川干潟保全実践プロジェクト該当学年職員</b>		
私のESD活動	<b>勤務校の生徒や地域の方々とともに、校区内にある汐川干潟を舞台に環境学習に取り組んでいます</b>		

活動の概要（特に、取り組みの独創性、革新性、成果について説明してください）

<H27年度までの活動>

- 毎年2回「観鳥会」（春：2年生、冬：1年生）実施  
講師として「汐川干潟を守る会（代表：藤岡エリ子さん）」を招いている。  
※1年生は、事前学習として12月に「野鳥コンクール」を実施。野鳥の名前を覚える。
- 「環境カリキュラム」を活用した授業実践（学校訪問、授業研究で成果等を検証）
- 26年3月 『汐川干潟再生プロジェクト』に向けた講演会  
講師：名城大学 特任教授 鈴木輝明先生
- 26年6月 『汐川干潟保全実践プロジェクト』スタート（市環境保全課とのタイアップ）  
2年生によるアサリを増やすための方法を実践  
講師：藤岡エリ子さん他（汐川干潟を守る会）
- 26年9月 環境学習デイ（全校）  
6月に実施したアサリを増やす方法の検証  
講師：藤岡エリ子さん他（汐川干潟を守る会）
- 26年11月 ESD世界大会（名古屋）にてプロジェクトの実践と成果を発表。
- 27年4月 干潟講演会（全校）  
講師：藤岡エリ子さん
- 27年6月 『汐川干潟保全実践プロジェクト』検証活動  
2年生が昨年設置した仕掛けを検証するとともに、生物調査を行った。
- 27年9月 干潟講話（2年生）  
講師：鈴木隆年さん（杉山町天津在住）  
環境学習デイ（全校）  
設置してある仕掛けの生物調査、新たな仕掛けの設置、クリーン活動を行った。
- 27年11月 第2回東三河ESD・ユネスコスクールフォーラム参加  
生徒会役員が『汐川干潟保全実践プロジェクト』などについて発表。  
「汐川干潟を保全する会」発会式、総会参加  
生徒会役員が、学んできた汐川干潟のことを地域に紹介。

○「豊橋市立章南中学校」 <http://www.shonan-j.toyohashi.ed.jp/shonan-j/index1.html>

ESD活動をさらに深めるために、今後どのような活動を展開していこうと考えていますか？またESD全体（地域や日本国内、国際）の発展にどのように貢献したいと思えますか？

まず、他の地域ではどのような実践がなされているのか、ESD活動をどのように捉えているのか、今回のコンファレンスの交流をとおして学びたい。そして、学んだことを勤務校および、豊橋市のESD推進に生かしていきたい。ESD全体として、推進のためのリーダー（スピーカー）として活躍したい。勤務校（以下章南中学校）が今年度取り組むESD活動予定を以下に示す。

章南中学校では、10年以上も前から環境教育が伝統的に進められている。生徒らは自分たちを取り巻く環境を理解する目的で校区内にある「汐川干潟」に着目した。汐川干潟は日本でも有数の渡り鳥の飛来地で、生物学的に見ても、大変価値のある場所であり本校でも「観鳥会」を、年に2回行っている。また、汐川干潟の重要性を学び、干潟をきれいにしようと様々な活動をしている。汐川干潟を生物の住みやすい環境にしようと、継続して530運動が行われている。今年卒業した生徒らは、さらに活動の幅を広げることを考えた。アサリの浄化作用に目を向け、今の汐川干潟には、アサリが必要であると考えた。そして、豊橋市環境保全課の方に応援を頼み、干潟保全実践プロジェクトを立ち上げた。現在は、このプロジェクトを引き継ぎ、新たなアイデアで実践している。今年は6月8日に2年生全員で汐川干潟に行き、生物調査を行った。今後も汐川干潟の保全活動に取り組んでいきたいと考えている。